

# 宗教学専攻分野科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	曜日・講時
宗教学特論Ⅰ	災害と宗教	2	木村 敏明	後期 金曜日 3講時
宗教学特論Ⅱ	宗教社会学	2	問芝 志保	前期 火曜日 3講時
宗教学死生学総合演習Ⅰ	宗教学死生学研究法	2	木村 敏明・高橋 原・谷山 洋三・問芝 志保	前期 火曜日 5講時
宗教学死生学総合演習Ⅱ	宗教学死生学研究法	2	高橋 原・谷山 洋三・木村 敏明・問芝 志保	後期 火曜日 5講時
宗教学死生学研究演習Ⅰ	宗教学死生学文献読解	2	谷山 洋三・問芝 志保・高 橋 原・木村 敏明	前期 金曜日 2講時
宗教学死生学研究演習Ⅱ	宗教学死生学文献読解	2	高橋 原・木村 敏明・谷山 洋三・問芝 志保	後期 金曜日 2講時
宗教学研究実習Ⅰ	宗教学調査法	2	木村 敏明・阿部 友紀・谷 山 洋三・問芝 志保	前期 月曜日 4講時 前期 月曜日 5講時
宗教学研究実習Ⅱ	宗教学調査法	2	木村 敏明・阿部 友紀・谷 山 洋三・問芝 志保	後期 月曜日 4講時 後期 月曜日 5講時

科目名：宗教学特論 I / Religious Studies (Advanced Lecture)

曜日・講時：後期 金曜日 3 講時

Semester：2 学期 単位数：2

担当教員：木村 敏明

コード：LM25303, 科目ナンバリング：LGH-RES601J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：災害と宗教

2. Course Title (授業題目) : Disaster and Religion

3. 授業の目的と概要：突然にやってきて人々の日常生活の基盤を突き崩してしまう自然災害。被災者たちや周囲の人々が災害を受け止め、生活を立て直す中で、宗教はいかなる役割を果たしてきたのか。この授業では自然災害をめぐる宗教的観念、儀礼的实践に関する文献を毎回取り上げ、現代社会における宗教の意義や課題について議論と講義を行うことで問題の理解を深める。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : This course explores various previous studies on disaster and religion and discusses meanings and tasks of religion in modern society.

5. 学習の到達目標：宗教学的なものの見方をみにつけることができる。

現代社会における宗教の意義や課題について具体的な事例を通して理解できる。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : The purpose of this course is to help students understand meanings and tasks of religion in modern society through the topic about religion and disaster.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション 1: 何故災害と宗教か?
2. イントロダクション 2: 発表準備
3. 災害と神話
4. 災害と神話
5. 災害表象
6. 災害表象
7. 災害と祭礼
8. 災害と祭礼
9. 災害と死者
10. 災害と死者
11. 宗教と災害支援
12. 宗教と災害支援
13. 宗教とレジリエンス
14. 宗教とレジリエンス
15. まとめ

8. 成績評価方法：

授業における発表とコメントで評価する

9. 教科書および参考書：

教科書は用いない。参考書は授業中に指示する。

10. 授業時間外学習：使用文献の精読および発表準備

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：

科目名：宗教学特論Ⅱ／ Religious Studies (Advanced Lecture)

曜日・講時：前期 火曜日 3講時

セメスター：1学期 単位数：2

担当教員：問芝 志保

コード：LM12305, 科目ナンバリング：LGH-RES602J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教社会学
  2. Course Title (授業題目)：Sociology of Religion in Japan
  3. 授業の目的と概要：①日本の宗教実践（特に葬送墓制、死別、巡礼、パワースポットブームなど）を対象とした英語論文を講読する。②外国人研究者が日本の宗教をどのようにとらえ、どのような点に注目しているかを理解する。③国内の研究動向との関連をディスカッションする。
  4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：(1) read English-language articles on Japanese religious practices (funeral and grave systems, bereavement, pilgrimage, power spot boom, etc.) (2) understand how foreign researchers view Japanese religions and what points they focus on (3) discuss the relationship with research trends in Japan
  5. 学習の到達目標：「宗教と社会」という問題をとらえるための視座を養う。
  6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students will learn about a basic framework for the study of religion and the sociology of religion in Japan.
  7. 授業の内容・方法と進度予定：
    - ・各回1名の受講者が報告を担当する。報告者は課題論文を熟読し、要約したレジюмеを作成し、報告を行う。
    - ・誰がいつ何を報告するかは初回授業の際に決定する。報告者になることを希望する者は初回授業に出席すること（どうしても出席できない場合は応相談）。
    - ・報告者にならなかった者の成績評価は期末レポートの提出によって行う。
  - (1) イントロダクション
  - (2) 日本の宗教社会学史概説講義①
  - (3) 日本の宗教社会学史概説講義②
  - (4) 現代日本の葬送墓制①
  - (5) 現代日本の葬送墓制②
  - (6) 現代日本の葬送墓制③
  - (7) 現代日本の葬送墓制④
  - (8) 日本の寺院・新宗教①
  - (9) 日本の寺院・新宗教②
  - (10) 日本の寺院・新宗教③
  - (11) 日本およびアジアの巡礼①
  - (12) 日本およびアジアの巡礼②
  - (13) 日本およびアジアの巡礼③
  - (14) 日本およびアジアの巡礼④
  - (15) まとめ
8. 成績評価方法：

レジюмеによる報告 もしくは 期末レポートの提出による。
  9. 教科書および参考書：

教科書は特に指定しない。参考書は授業中に指示する。
  10. 授業時間外学習：課題論文を熟読し、わからない事項は事典等で調べておく。

授業内で提示された参考書に目を通し、理解を深める。
  11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
    - ※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
    - 《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
  12. その他：

科目名：宗教学死生学総合演習 I / Religious Studies / Death & Life Studies (Integration Seminar)

曜日・講時：前期 火曜日 5 講時

Semester : 1 学期 単位数 : 2

担当教員：木村 敏明・高橋 原・谷山 洋三・問芝 志保

コード：LM12506, 科目ナンバリング：LGH-RES604J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学死生学研究法
2. Course Title (授業題目) : Method of Religious Studies/ Death & Life Studies
3. 授業の目的と概要：この授業は、大学院在籍学生による研究発表と討論を通して、宗教学や死生学に関する高度な知識や方法を身につけることを目的とする。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : This course aims to acquire advanced knowledge and methods of religious studies and death studies through research presentations and discussions by graduate students.
5. 学習の到達目標：自他の研究内容について、学術的に発表および討論を行うことができる。
6. Learning Goals (学修の到達目標) : Students will gain skills for academic presentation and discussion
7. 授業の内容・方法と進度予定：  
毎回の授業において1名ないし2名の大学院生が発表をおこない、その内容について全体で討論をおこなう。
8. 成績評価方法：  
授業および発表への参加。
9. 教科書および参考書：  
特になし。
10. 授業時間外学習：自らの研究を発表としてまとめること。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business  
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：

科目名：宗教学死生学総合演習Ⅱ／ Religious Studies / Death & Life Studies (Integration Seminar)

曜日・講時：後期 火曜日 5講時

Semester：2学期 単位数：2

担当教員：高橋 原, 谷山 洋三, 木村 敏明, 問芝 志保

コード：LM22505, 科目ナンバリング：LGH-RES605J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学死生学研究法
2. Course Title (授業題目)：Method of Religious Studies/ Death & Life Studies
3. 授業の目的と概要：この授業は、大学院在籍学生による研究発表と討論を通して、宗教学や死生学に関する高度な知識や方法を身につけることを目的とする。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course aims to acquire advanced knowledge and methods of religious studies and death studies through research presentations and discussions by graduate students.
5. 学習の到達目標：自他の研究内容について、学術的に発表および討論を行うことができる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will gain skills for academic presentation and discussion
7. 授業の内容・方法と進度予定：  
毎回の授業において1名ないし2名の大学院生が発表をおこない、その内容について全体で討論をおこなう。
8. 成績評価方法：  
授業および発表への参加。
9. 教科書および参考書：  
特になし。
10. 授業時間外学習：自らの研究を発表としてまとめること。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness  
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：

科目名：宗教学死生学研究演習 I / Religious Studies / Death & Life Studies (Advanced Seminar)

曜日・講時：前期 金曜日 2 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：谷山 洋三、問芝 志保、高橋 原、木村 敏明

コード：LM15203, 科目ナンバリング：LGH-RES606J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学死生学文献読解
2. Course Title (授業題目)：Reading of Religious Studies / Death & Life Studies Literature
3. 授業の目的と概要：宗教学・死生学分野における専門的研究のためには、やりたい研究の先行研究にあたる文献・論文を見つけ、読み、整理して、そこに自分の研究を位置づける作業が不可欠である。この授業では、文献一覧の作成および文献内容紹介の発表を通して、研究者として必要な先行研究整理のスキルを身につけることを目的とする。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：For professional research in the field of religious studies and death & life studies, it is essential to find, read and organize the literature and articles that precede the research one wishes to do and situate one's own research in them. The purpose of this class is to acquire the skills necessary for researchers to organize previous research through the preparation of a bibliography and presentation of the contents of the literature and articles.
5. 学習の到達目標：先行研究の見つけ方、まとめ方がわかる  
自分の研究を先行研究の中に位置づけることができる
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Know how to find and summarize previous research  
Able to situate their research within prior research
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  1. イントロダクション
  - 2～15. 文献リストおよび文献の内容に関する報告と議論
8. 成績評価方法：  
発表と議論への参加
9. 教科書および参考書：  
必要資料は授業中に配布する
10. 授業時間外学習：文献リストの作成および発表準備
11. 実務・実践的授業/Practical business  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business  
《実務・実践的授業/Practical business》
12. その他：

科目名：宗教学死生学研究演習Ⅱ／ Religious Studies / Death & Life Studies (Advanced Seminar)

曜日・講時：後期 金曜日 2講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：高橋 原, 木村 敏明, 谷山 洋三, 間芝 志保

コード：LM25203, 科目ナンバリング：LGH-RES607J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学死生学文献読解
2. Course Title (授業題目)：Reading of Religious Studies / Death & Life Studies Literature
3. 授業の目的と概要：宗教学・死生学分野における専門的研究のためには、やりたい研究の先行研究にあたる文献・論文を見つけ、読み、整理して、そこに自分の研究を位置づける作業が不可欠である。この授業では、文献一覧の作成および文献内容紹介の発表を通して、研究者として必要な先行研究整理のスキルを身につけることを目的とする。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：For professional research in the field of religious studies and death & life studies, it is essential to find, read and organize the literature and articles that precede the research one wishes to do and situate one's own research in them. The purpose of this class is to acquire the skills necessary for researchers to organize previous research through the preparation of a bibliography and presentation of the contents of the literature and articles.
5. 学習の到達目標：先行研究の見つけ方、まとめ方がわかる  
自分の研究を先行研究の中に位置づけることができる
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Know how to find and summarize previous research  
Able to situate their research within prior research
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  1. イントロダクション
  - 2～15. 文献リストおよび文献の内容に関する報告と議論
8. 成績評価方法：  
発表と議論への参加
9. 教科書および参考書：  
必要資料は授業中に配布する
10. 授業時間外学習：文献リストの作成および発表準備
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness  
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：

科目名：宗教学研究実習Ⅰ／Religious Studies (Advanced Fieldwork)

曜日・講時：前期 月曜日 4 講時. 前期 月曜日 5 講時

セメスター：1 単位数：

担当教員：木村 敏明. 阿部 友紀. 谷山 洋三. 問芝 志保

コード：LM11406, 科目ナンバリング：, 使用言語：

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学調査法

2. Course Title (授業題目)：How to research religions: from planning to fieldwork

3. 授業の目的と概要：他者の信仰を理解するためには、文字化された資料を扱うのみでは限界があり、フィールドワークに基づき、活きた信仰を解き明かすことが必須である。本授業では、宗教調査の方法とスキルについて講義を通して学習し、夏季におこなう共同調査に向けて調査計画の立案を行う。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：It is important for students in religious studies to know living religious cultures. This course offers an opportunity for students to experience field research to deepen their understanding of religion.

5. 学習の到達目標：(1) 宗教調査の立案、準備、実施、資料整理、発表の技法を身につける。

(2) 調査を通じて「活きた宗教」に対する理解を深める。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：This course is designed to help students develop basic skills of field research in religious studies and deepen their understanding of living religious cultures

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション
2. 第一回：宗教学におけるデータとは
3. 第二回：参与観察法
4. 第三回：インタビュー調査法
5. 第四回：質問紙調査法
6. 第五回：文献調査法・情報検索法
7. 第六回：映像記録法① 写真撮影の基本
8. 第七回：映像記録法② ビデオ撮影の基本
9. 第八回：映像記録法③ 写真撮影実習
10. 第九回：調査と研究の倫理
11. 第十回：現地調査計画の立案
12. 第十一回：現地調査準備① 地域について知る
13. 第十二回：現地調査準備② 先行研究をまとめる
14. 第十三回：現地調査準備③ 質問項目を考える
15. 第十四回：まとめ、調査の最終チェック

8. 成績評価方法：

授業/ 調査への取り組み、発表を総合的に評価する

9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.

10. 授業時間外学習：授業中に指示された課題、準備。夏季に実施される現地調査への参加。

Students are required to prepare for class assignments and attend to Summer Semester Research.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：



科目名：宗教学研究実習Ⅱ／ Religious Studies (Advanced Fieldwork)

曜日・講時：後期 月曜日 4 講時, 後期 月曜日 5 講時

セメスター：2 単位数：

担当教員：木村 敏明, 阿部 友紀, 谷山 洋三, 間芝 志保

コード：LM21407, 科目ナンバリング：, 使用言語：

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：宗教学調査法

2. Course Title (授業題目)：How to research religions: from planning to fieldwork

3. 授業の目的と概要：他者の信仰を理解するためには、文字化された資料を扱うのみでは限界があり、フィールドワークに基づき、活きた信仰を解き明かすことが必要である。本授業では、夏季に行われた宗教調査をもとにしてそのまとめ作業をおこなう。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：It is important for students in religious studies to know living religious cultures. This course offers an opportunity for students to experience field research to deepen their understanding of religion.

5. 学習の到達目標：(1) 宗教調査の立案、準備、実施、資料整理、発表の技法を身につける。  
(2) 調査を通じて「活きた宗教」に対する理解を深める。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：This course is designed to help students develop basic skills of field research in religious studies and deepen their understanding of living religious cultures

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. インTRODクシヨン 後期授業の概要
2. 第一回、前期調査のまとめ①フェイスシート整理作業
3. 第二回、前期調査のまとめ②聞き取りデータ整理作業 社会組織と生業
4. 第三回、前期調査のまとめ③聞き取りデータ整理作業 神社・寺院・その他の宗教施設
5. 第四回、前期調査のまとめ④聞き取りデータ整理作業 民間信仰
6. 第五回、前期調査成果発表準備①アウトライン作成
7. 第六回、前期調査成果発表準備②データの集約
8. 第七回、前期調査成果発表準備③スライド作成
9. 第八回、前期調査成果発表準備④発表予行演習
10. 第九回、前期調査成果発表
11. 第十回、現地調査報告書作成①社会組織と生業
12. 第十一回、現地調査報告書作成②神社・寺院・その他の宗教施設
13. 第十二回、現地調査報告書作成③民間信仰
14. 第十三回、現地調査報告書作成④校正など
15. 第十四回、総括と反省

8. 成績評価方法：

授業/ 調査への取り組み、発表を総合的に評価する

9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書については、授業中に紹介する。

No textbook will be used. References will be introduced in the class.

10. 授業時間外学習：授業中に指示された課題、準備。

Students are required to prepare for class assignments.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：